

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●丹内祐次騎手がJRA通算700勝を達成

9月12日(土)の4回中山3日・第11レースとして行われたラジオ日本賞ではユキマルが1着となり、同馬に騎乗した丹内祐次騎手(美浦・フリー)は、史上73人目・現役29人目となるJRA通算700勝(1万3268戦目)を達成しました。

### ●柴田善臣騎手が引退

柴田善臣騎手(美浦・フリー)からの申請により、9月18日(金)付で騎手免許を取り消しました。JRA通算成績は、ヤマニンゼファーとのコンビで勝利した安田記念や天皇賞(秋)などGⅠ・9勝を含め2万2311戦2341勝でした。なお引退式は11月1日(日)に東京競馬場で行われ、引退後はJRAのアドバイザーに就任する予定です。

### ●オウケンブルースリが死亡

9月9日(水)、オウケンブルースリ(騊21歳)が死亡しました。同馬は2008年菊花賞(JpnⅠ)を制するなどJRA通算27戦5勝の成績を残し、種牡馬としては共同通信杯(GⅢ)勝ち馬オウケンムーンなどを出しています。種牡馬から引退した後は、公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル功労馬繋養支援事業の助成対象馬として北海道浦河町のうらかわ優駿ビレッジAERUで余生を過ごしていました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●小牧太騎手(兵庫)が園田のゴールデンジョッキーCに優勝

9月16日に園田で通算2,000勝以上の騎手を集め、3レースのポイント制で争われたゴールデンジョッキーCは、2勝の小牧太騎手(兵庫)が総合優勝。横山典弘騎手(美浦)は第8位、戸崎圭太騎手(美浦)は第11位、クリストフルメール騎手(栗東)は第12位でした。

### ●西日本3歳優駿はゴコクホウジョウ(愛知)【各地の主要3歳重賞】

西日本地区デビュー馬限定戦の西日本3歳優駿(9月11日、笠松、1,900<sup>円</sup>)は、3番手から3コーナー過ぎに先頭に立った5番人気の愛知所属馬ゴコクホウジョウ(牝、父ルヴァンスレーヴ)が、単勝1.1倍で圧倒の人気の高知三冠馬カツテナイオイシサに1馬身半差を付けて完勝、兼六園スプリントから重賞を連勝しました。サラブレッド大賞典(9月13日、金沢、2,000<sup>円</sup>)は、3～4番手を進んだ5番人気のJRA(4戦未勝利)からの移籍馬スターキャンディ(牝、父シュヴァルグラン)がゴール前で差し切り勝ち。金沢三冠が懸かったグリーゼは5着に敗れています。

### ●9月22日の白山大賞典(金沢)はアウトレンジが有力

白山大賞典(JpnⅢ、9月22日、金沢、2,100<sup>円</sup>)は、帝王賞2着など実績上位のアウトレンジが中心、ホウオウルレーツ、オディロン(兵庫)、クールミラボー、メリークリスマスが続き、シンビリーブ、ユメノホノオ(高知)までが争覇圏内と考えられます。

### ●牝馬タガノミストらが参戦、9月23日のオーバルスプリント

オーバルスプリント(JpnⅢ、9月23日、浦和、1,400<sup>円</sup>)は、スパーキングレディーCの覇者タガノミストが筆頭格、インユアパレス、ダノンフィーゴも差はなく、以下ハッピーマン、ケイズレーヴ(愛知)の順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●GⅠ英セントレジャー〜女性騎手が史上初の優勝

現地9月12日にイギリスのドンカスター競馬場で行われた第250回GⅠ英セントレジャー(3歳牡牝、芝2,910<sup>m</sup>)は中国追走から直線半ばで先頭に立ったハイウェイマン(牡3歳、父ベルシアンキング、愛J. オブライエン厩舎)が優勝。鞍上のサフィー・オズボーン騎手(24歳)は女性騎手として史上初となる英セントレジャー制覇を果たしました(女性騎手の英クラシック制覇も史上初)。ハイウェイマンは今年5月のデビューから9着、15着、11着、8着と4連敗しましたが、距離を延ばした7月の未勝利戦(芝2,270<sup>m</sup>)を9馬身差で制して初勝利を挙げると、続く8月の前走ヴィニーローS(リステッド、芝2,800<sup>m</sup>)も2馬身1/4差で連勝していました。

### ●GⅠアイリッシュチャンピオンS〜最低人気のホタツエルが制す

9月12日にアイルランドのレパーズタウン競馬場で行われたGⅠアイリッシュチャンピオンS(3歳以上、芝2,000<sup>m</sup>)はS. フォーリー騎手が手綱を取ったホタツエル(牡4歳、父トゥーダーンホット)が後方から差し切り勝ち。最低人気(8頭立て、単勝51倍)の伏兵が勝利を手に入れました。今年の仏ダービー馬で、1番人気に推されたコンスティテューションリバーは3着でした。勝ったホタツエルは2歳10月のGⅠフューチュリティトロフィー(芝1,600<sup>m</sup>)でGⅠ初制覇。そこからは昨年のこのレース(4着)を含めて7連敗を喫していましたが、前走7月のGⅠダルマイヤー大賞(芝2,000<sup>m</sup>)を逃げ切って久々の勝利を挙げていました。なお、管理するJ. ハリントン夫人(79歳)は女性調教師として初のアイリッシュチャンピオンS制覇を成し遂げました。